

初の半日開催で4つの分散会 コロナ禍の子どもと教育を語り交流



第2202号

編集兼発行人
埼玉県教職員組合
情報宣伝部
さいたま市浦和区高砂
3-12-24教育会館内
電話048 (824) 2511
(一部 10円)
毎月15日発行

(組合員の購読料)
は組合費に含む

埼教組メールアドレス
saikyouso@
kyouiku-net.org
埼教組ホームページ
http://
www.kyouiku-net.org

法律相談

1月28日(木)
3月25日(木)
16:30より
組合員は無料で
相談出来ます。
☎048-824-2511



人と人がつながりながら頑張ろう 障害児学校 (学級)分散会

川越・篠田友子

障害児教育の分科会では、3月には休校措置をしながら特別支援学校からの報告、3月から3か月間及び休校を経験した特別支援学級からの報告、コロナ禍における施設運営と利用者の生活状況の報告がありました。その報告の後、様々な学校現場での状況が伝えられました。聴覚障害の子どもたちのコミュニケーションの課題、コロナ対応の予算に使用はどうか、通常学級の

11月15日の午後、県立春日部高校を会場にお借りして、「未来をひらく教育のつどい2020年埼玉集会」を開催しました。初の半日開催で、「コロナ禍の学校と教育」をテーマに、小学校、中学校、高校、障害児学校(学級)の4つの分散会に分かれ、現状を出し合い学び交流しました。95人の教職員、市民が集いました。



競争的学びから学ぶ喜びの世界へ 小学校②分散会

さいたま市・湧井一成

小学校教員の林さんは、3月からの一斉休校の際に、いかに教職員がその対応に追われたかを時間経過に沿って事細かに報告しました。学習プリントを子どもたちに渡して終わりではなく、単元ごとに学習解説の冊子を学年の先生同士で協力して作成し、子どもたちに手渡すなどきめ細やかな対応です。比企労連の島田さんは、学校の外から見た子どもたちや家庭の様子が赤裸々に語りま

小学校①分散会

本部・北村純一

子どもを主人公にした学校・教育を創っていこう

学校休校中、子どもたちは外との関わりを一切断たれ、家庭では笑顔がなくなり、不安な姿が手に取るように現れたそうです。わずかなオンラインでも友だちや先生と繋がることに安心を覚えたと言います。しかし、さいたま市教委の進めた「スタディコンテンツ」は子ども1人でやるはずもなく、教職員が苦勞して作っても、家庭の受け止めは冷やかでした。ようやく再開された分散登校では、子どもの個別の声が聞け、不登校

が上がりました。その後の通常登校からは、授業スピードが早くなり、行事がなくなってしまっていることに、保護者は残念さを訴えていました。学校では、下級生を支援する高学年の子どもの出番が奪われて、高学年の自覚を育てられませんか。これまでの行事や教科の指導計画が一切参考にならずに、独自に編み出す厳しさと工夫が必要と言います。子どもを置いてきぼりにせず、子どもを主人公にした学校・教育を創っていくために、大人たちが協力することの重要で

す。「20人学級」のとりくみはそのいい例です。

会場入口で、検温と手指の消毒も



子どもたちを真ん中にすえた熱い発言次々 中学・高校分散会

秩父・中西秀典

感染症対策で、入り口でのアルコール消毒、換気のため窓が明け放れたや肌寒い部屋、ソーシャルディスタンスが生み出した前後左右の空間。いつもの「教育のつどい」とは雰囲気と異なる中で司会者が口火を切りました。しかし、ものの数分も経過するとそれらが杞憂であつたことに気づかれました。父年と異なる形式での開催でしたが、コロナによる困難の中で例年にも増して学習となりました。



新型コロナウイルスの感染状況に気を配りながら、消毒スプレーを手に持ち

校舎を駆け回っている方も多いのではないのでしょうか▼教育のつどい2020に参加しました。授業再開後の学校で、教材を工夫し授業形態にも配慮しつつ、「教育の質は落とさないぞ」という現場でのとりくみが報告されました▼「教職員の1年単位の変形労働時間制」に関する取組では、導入に反対し、限られた時間のなかで、足りないままの教職員数で、対応しなくてはならない様々な課題に向き合い奮闘している教職員の声と実態が、現場から相次ぎました▼わたしたち一人一人の声が伝わることで、教育を支え、よいものにしていく原動力となります。自分自身の「つどい」、「要望」の発信先はお持ちでしょうか。埼玉県教職員組合のホームページを開いてみます。「うんうん」と思わず言ってしまうかもしれません。あなたのつどいやき、うなずきが要望発信の第一歩です(み)

地公労賃金確定交渉は終了

一時金0.05月引き下げるも、不妊治療にかかわる休暇制度拡充は前進



2020年度の地公労賃金確定交渉は11月27日、第3回の交渉を行い終了しました。

今年度の賃金確定交渉はこれまでに類のない、人事委員会勧告が示されない中で、交渉が始まるというスタートでした。コロナ禍で、国の人事院勧告が例年のスケジュールで示されない中で、異例の一時金0.05月引き下げるも、不妊治療にかかわる休暇制度拡充は前進

時金と人事管理に関する内容のみの勧告を示し、それに遅れをとるかたちで月例給についても勧告をするという2段階に分けた勧告でした。

埼玉県では、勧告内容についても、示し方についても、国以上の勧告内容、2段階に分けることのない例年通りの完全な形での勧告を要求しましたが、当局は私たちの声には応えませんでした。人事委員会勧告の内容については、国追隨のコロナ禍でエッセンシャルワーカーとして奮闘してきた教職員・県職員の働きに応えない一時金0.05月引き下げ

の逆提案を当局は示しました。生計費原則を無視し、人事委員会勧告のみを理由とした一時金引き下げの逆提案を許すことはできないと交渉を重ねましたが、当局は最後まで譲りませんでした。一方で私たちが要求した労働条件については一定の改善を勝ち取ることもできました。特に、国も推進しようとしている不妊治療にかかわる休暇制度の拡充については、大きな前進です。

地公労賃金確定交渉については終了しましたが、具体的な教育の内容にかかわる埼教連交渉については現在も継続中です。

教育文化 研究所 コーナー

季刊誌93号の特集記事「コロナ禍の子どもの貧困と教育」(白鳥勲さん)がしんぶん赤旗で紹介され、問い合わせや講演依頼が相次いでいます。「弱者に寄り添った貴重な活動」との評価です。内容は93号でお確かめ下さい。あしなが育英会が、コロナ禍での遺児家庭の状況について、会の

子ども・保護者に 共感し寄り添う

読みました。

高校生の3割が家庭の変化(食費、光熱費の節約など)を感じている。大学生の4人に1人が「退学を考えた」。2人に1人が

会見に出席の女性は、涙を流しながら、政府の観光支援策「Go Toトラベル」について、「あしなが育英会の子どもも親も旅行に行く余裕なんてありません。

菅政権が、今緊急にやるべきことは「ひとりの親世帯への生活支援」「大学・高校の学費無償化」「再度の給付金ではないでしょうか。(事務局長 山内芳衛)

まま・ばばの会開く



12月4日に、青年部でおよそ7年ぶりとなる「まま・ばばの会」を開催しました。開催に伴い、本部から今年度、総合共済で出産祝い金を申請された方にも案内を送付しました。埼教組の加入の有無に関係なく子育て世代の青年層が子育てでの不安や悩み、育休明けの働き方や制度について話せたらいいなとスタートさせました。

当日はコロナ禍で浦和に足を運ぶのも不安な方もいるだろうと、オンラインでの同時配信を

も不安な方もいるだろうと、オンラインでの同時配信を

【休暇関連の改善(常勤職員)】

- 不妊治療に係る病気休暇の取得事由の拡大
 - ・不妊症に係る病休について、不妊治療のための通院や不妊症と診断された後の薬の受領のための通院も病気休暇の対象と認める。
 - ・不妊症に加え、不育症に係る治療についても病休の対象とする。
 - ・不妊症、不育症に係る病気休暇について、他の病休と同様に、1回の休暇の請求が連続して7日を越えない場合には、診断書の提出をしないこととする。
 - ・7日を越える不妊症に係る病休を申請する場合、診断書ではなくより簡易的な様式である、不妊治療連絡カードでも可とする。
- 不妊治療に係る家族看護休暇の取得事由の拡大
 - ・診断結果や治療方針の説明の際の付き添いを加える(不妊治療の付き添いも可能に)

【休暇関連の改善(会計年度任用職員)】

- 通院休暇、通勤緩和休暇について有給休暇とする。
- 夏季休暇について、週1日勤務を除き、全ての職員に最低3日付与する。また、非常勤講師の発令を合算した勤務日数に応じた夏季休暇を付与する。

【教職員の多忙化解消・負担軽減】

- 欠員の臨時確保が困難な場合に、一定の条件のもとで、会計年度任用職員の配置を検討する。
- 初任研の閉講式と3年次研の開講式を見直し、研修時間の縮減を図る。
- 年次研修の一部をオンライン化

【その他の改善項目】

- 再任用職員(事務等)について、本人希望を踏まえ、フルタイムでの3級格付けを行い、主任専門員に任用する。

【埼教連で継続協議する事項】

- ・「一年単位の変形労働時間制」
- ・年次研修の運用の一部見直し・検討
- ・未配置・未補充解消に向けた具体的内容



どげー！3万3437人の願い

(12/9現在 埼教組集計分)



マンモス化の改善。私学に通う生徒は「誰もが平等に教育を受ける権利」。参加者は深刻な実態を伝え教育予算の拡充を訴えました。集会終了後、浦和駅まで県民に呼びかけながらパレードしました。

集会で県は少人数学級に対して、「様々な意見がある」という賛否両論を理由とした回答から、「国の責任である」と、県単独では困難」と県財政を理由とした回答に変わりました。財政が理由ならば、予算がつく

今年にはゴールなし、車からのアナウンスでパレード

署名を積み上げて、埼教組・埼高教・私教連・父母懇による『対県要請集会』を行いました。埼教組の仲間は「元教育長も少人数学級の請願呼びかけ人になってくれた」。埼高教の参加者は「障害児学校の

「様々な意見がある」という賛否両論を理由とした回答から、「国の責任である」と、県単独では困難」と県財政を理由とした回答に変わりました。財政が理由ならば、予算がつく



1/31(日)10時、 埼玉教育会館にて 女性部学校 AM全体会(定員40名)

性教育YouTuberシオリーさんの講演PM実践やしやべり場など3分科会事前申し込みが必要です詳しくは本部までTEL 048-824-2511

新聞コンクールは 2/3切です

プロによる講評が受けられます。学級通信(単組ニュースなど(3部程度)申込書を添えて応募下さい。役立つ賞品を用意してお待ちしています!